

2015 年度受講案内

第 9 回伴走型支援士 2 級認定講座

伴走型支援士 2 級認定講座の開催をご案内します。

ホームレス支援全国ネットワークでは、2011 年度より、困窮者支援に携わる方への人材育成プログラムとして『伴走型支援士認定講座』を開始しました。これまでに全国で実施した認定講座では、ホームレス支援団体職員・ボランティア、福祉施設職員、社会福祉協議会職員、自治体職員など、様々な分野からの参加が見られ、2014 年度までに 435 名の方々が「伴走型支援士」資格を取得されました。

困窮者の状況が大きく変化している現在、支援に携わる人材の育成は大きな課題と考えます。厚生労働省平成 22 年度社会福祉推進事業として実施した「広義ホームレスの可視化と支援策に関する調査」において、脱ホームレスを果たした年間 4 万人の方のうち、路上経験者は約半数という調査結果が出ています。そういった意味では困窮状況は見えにくくなり、地域に広がっています。困窮者の若年化や貧困の世代間連鎖など、様々な課題が見えています。

2015 年 4 月より、「生活困窮者自立支援法」に基づく自立相談支援事業がはじまりました。全国で相談窓口が設置されるとともに、就労準備支援事業、家計相談支援事業、学習支援事業など、具体的な支援の仕組みも整備されました。このことは、日本の困窮者支援において、大きな前進と言えます。

しかし、この制度をより有効に機能させるためには、地域において支援を行っている社会資源とどれだけ連携できるか、民間レベルにおける人材をいかに充実させるかが重要と考えます。相談事業のみでは、相談に来られた方をつなぐことができず、滞留する結果となるからです。そのためには、国の制度および人材育成システムが整備されるだけでなく、民間を含めた社会全体で困窮者を受け入れる体制づくりを目指さなければなりません。地域には、これまで困窮者を支えてきた民間団体・事業所が多く存在します。今後、新しい施策の中で、このような現場の方々の力が否応なく必要となってきます。私たちは、この現場の皆様の人材育成の一助となれるように「伴走型支援士育成講座」を体系的に進めてきました。国の設置する新しい困窮者支援の人材育成の仕組みと既存の社会資源による人材育成の仕組みが連携して支援にあたることによって、大きな成果が得られるものと考えています。

これまでの困窮者支援の現場で培ってきた経験、これまでの講座開催の実績をもとに、2015 年度も困窮者支援の一助となるよう、伴走型支援士認定講座を開講します。みなさまの参加をお待ちしております。

NPO 法人ホームレス支援全国ネットワーク
理事長 奥田知志

開催概要

◆ 日 時

2016年2月5日（金）13時00分

～ 7日（日）14時30分

※3日間の連続講座です。原則、全課程を受講できる方に限ります

★オプションプログラム：

2月4日（木）14時00分～16時30分（詳細は後述）

◆ 場 所

福岡県北九州市

◆ メディアドーム 15・16 会議室

住所：福岡県北九州市小倉北区三萩野 3-1-1

◆ 開講講座

2級認定講座（初任者向け）

◆ 定 員

60名 ※ 定員になり次第、申し込みをお断りする事があります。お早めにお申し込み下さい。

◆ 費用

認定費用 10,000 円

お申込み後、請求書をお送りします。指定期日までにお振り込みをお願いします。

※ 認定費用については、可否に関わらず返還はありません。

○ 別途必要となる費用

● 交通費・宿泊費

※ 各自で手配をお願いいたします。

● 交流会費：4,000 円

※ 参加・不参加の旨を申込書にご記入ください。

● 食事代

※ 2日目・3日目はお弁当を500円で用意いたします。ご希望の方は申込書にご記入ください。

● オプション参加費

※ 2/4のオプションプログラムに参加希望の方は、資料代として1,000円をお支払いください。ご希望の方は申込書にご記入ください。

★ 詳細は、受講決定通知にてお知らせします。

◆ 申込受付期間

2016年1月4日（月）～1月22日（金）

◆ 受講資格

伴走型支援士を志す方はどなたでも受講できます。

◆ 資格認定者

資格認定は、特定非営利活動法人ホームレス支援全国ネットワーク内に設置する伴走型支援士資格認定委員会委員長が行うものとします。

◆ 資格の有効期限

5年間

※ 有効期限内に更新講座の受講をしない場合、資格失効となります。

◆ 受講者の決定と結果通知

申込書の住所に随時郵送

◆ 受講の手続き

① 申込受付
(1/22 まで)

⇒

② 受講決定
(1/27 までに通知)

⇒

③ 費用振込
(2/1 まで)

① 受講を希望される方は、2016年1月22日（金）までに、別紙「受講申込書」に必要事項をご記入のうえ、証明写真2枚を同封し（内1枚は申込書に貼付）、下記の申込書送付先までご郵送ください（当日消印有効）。

※ 電話・FAX・Eメールでのお申し込みはできませんのでご注意ください。

② 受講申込書の受付後、2016年1月27日（水）までに結果を申込書記載の住所宛に郵送にて通知します（受講決定通知書の郵送）。

③ 受講決定通知書とともに送付する請求書にて、費用を2/1までにお支払いください。

※ 受講前のキャンセルは費用を返金致します。その際は、振込手数料差引後の金額で返金とさせていただきますので、ご了承ください。

◆ 申込書送付先・お問い合わせ先

特定非営利活動法人

ホームレス支援全国ネットワーク事務局

〒805-0015 福岡県北九州市八幡東区荒生田 2-1-32

TEL/FAX : 093-651-7557

E-mail : postmaster@homeless-net.org

講義と主な内容	形式
<p>◇ 今日の生活困窮者問題と伴走型支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 生活困窮者とは誰か ● 生活困窮者支援とは何か ● 生活困窮者支援には何が必要か ● 個人に対する伴走型支援 ● 地域に対する働きかけ ● おわりにー支援の方向性 	講義
<p>◇ ホームレス支援論</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「ホームレスとは誰か？」ーホームレス特措法上のホームレス ● ホームレスになるおそれのある者とは（広義のホームレス≡生活困窮者） ● ホームレスの減少、生活保護者・生活困窮者の増大、物質的な貧困、社会的な貧困（関係性の貧困） ● 広義ホームレスは増大、貧困の連鎖について ● まとめにかえて一家と共に何を失ったのか？回復すべきものは何なのか？ 	講義
<p>◇ 生活困窮者支援と社会保障Ⅰ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 社会保障制度の全体像と生活困窮者支援 ● 社会保険と生活困窮者支援 ● 生活保護と生活困窮者支援 ● 「第二のセーフティネット」ー重層的セーフティネットの構築 	講義
<p>◇ 生活困窮者に対する就労支援Ⅰ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 生活困窮者支援における就労支援の位置付けと意義 ● 自立支援センターなど法に基づく施策による就労支援 ● 多様な就労と自立支援 ● 中間労働市場の構築と制度的実践的課題 	講義
<p>◇ 生活困窮者に対する居住支援Ⅰ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 生活困窮者と居住支援の位置付け ● 居住の不安定性と多様性 ● 居住の現状 ● 多彩な居住支援 	講義
<p>◇ 生活困窮者支援と司法福祉Ⅰ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 刑事司法手続きについて ● 矯正施設出所者支援 ● 捜査・公判段階からの支援 	講義

<p>◇ 生活困窮者支援と社会福祉－障がい者福祉 I</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 生活困窮者支援における障がい者の実態 ● 障がいの特性 ● 各依存症の特性 ● 障がい者福祉の制度 ● 障がい者の制度から漏れがちな人々に対する支援と課題 	講義
<p>◇ 生活困窮状態にある女性支援 I</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 最近の生活困窮者の現状 ● 女性支援に見られる特徴 ● 貧困の世代間連鎖について 	講義
<p>◇ 生活困窮状態にある子ども・若者支援 I</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 子ども・若者支援に見られる特徴 ● アウトリーチによる支援－事例を通して ● 家庭支援について 	講義
<p>◇ 生活困窮者に対する家計再建支援 I</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 家計再建支援の目的、意義 ● 家計から見える困窮世帯の状況 ● 家計再建支援の基礎知識 	講義
<p>◇ サポートプラン方式による生活困窮者支援 I</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 生活困窮者支援におけるアフターサポートの目的と意義 ● サポートプラン作成の意義、目的 ● アフターサポート段階におけるケアマネジメント ● サポートプランの活用法 	講義
<p>◇ サポートプラン方式による生活困窮者支援 II</p> <ul style="list-style-type: none"> ● サポートプラン作成の実際 	演習

※ 講義内容は変更されることがあります。予め、ご容赦ください。

